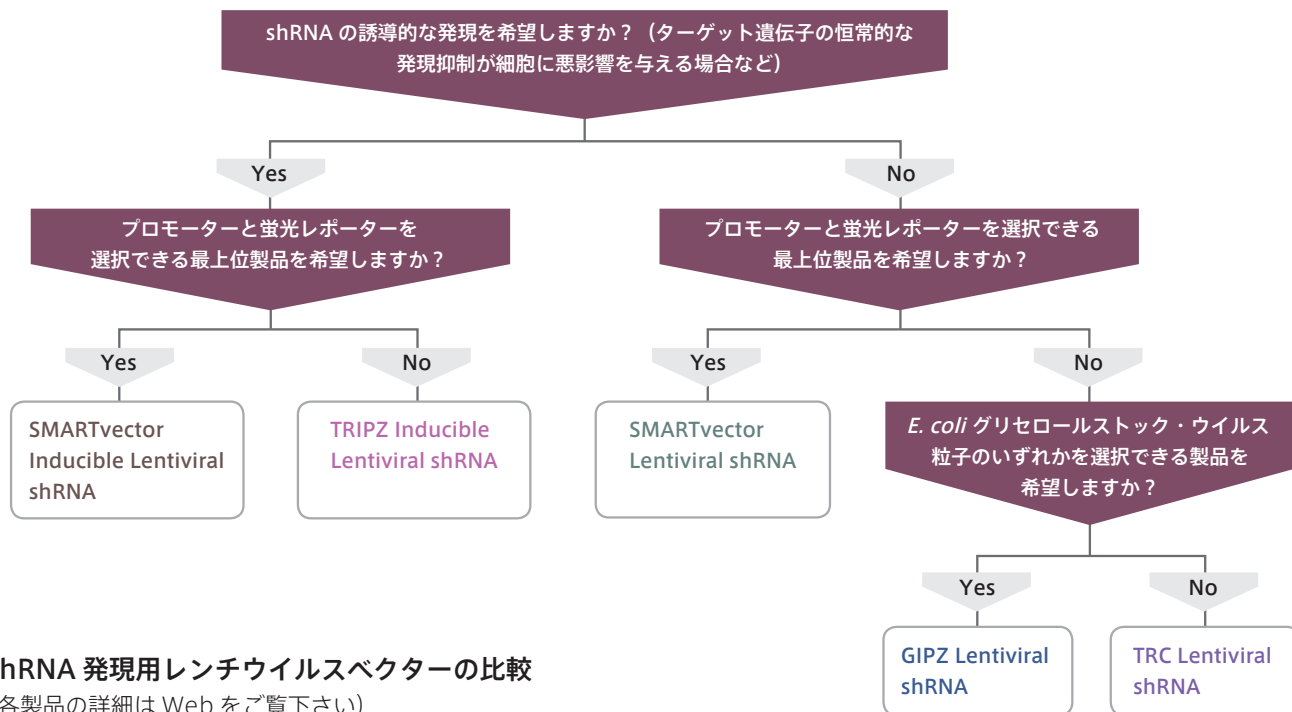


## Dharmacon™ shRNA 発現用レンチウイルスベクター 選択ガイド

ヒトまたはマウス全ゲノムを網羅する shRNA コンストラクトを含む発現ベクターです。Lentiviral shRNA のご希望のクローン (最大 3 種類) にコントロールベクターなどをセットにしたスターターキット製品もあります。



## shRNA 発現用レンチウイルスベクターの比較

(各製品の詳細は Web をご覧下さい)

	SMARTvector Lentiviral shRNA	SMARTvector Inducible Lentiviral shRNA	GIPZ Lentiviral shRNA	TRIPZ Inducible Lentiviral shRNA	TRC Lentiviral shRNA
掲載ページ	p.15	p.15	p.16	p.16	—
Web ページ番号	63043	63052	64629	64630	64631
生物種	Human/Mouse/Rat	Human/Mouse/Rat	Human/Mouse	Human	Human/Mouse
shRNA の種類	microRNA ベース*1				シンプルヘアピン型
プロモーター	7 種類から選択	4 種類から選択	Human CMV Pol II	TRE min-CMV	U6 Pol III
蛍光レポーター	TurboGFP/TurboRFP/無し	TurboGFP/TurboRFP	TurboGFP	TurboRFP	—
shRNA 発現の誘導性	—	●	—	●	—
製品形態	●高力価ウイルス粒子 ● <i>E. coli</i> グリセロールストック*2	●高力価ウイルス粒子 ● <i>E. coli</i> グリセロールストック*2	●高力価ウイルス粒子 ● <i>E. coli</i> グリセロールストック*2 ●Starter Kit*3	● <i>E. coli</i> グリセロールストック*2 ●Starter Kit*3	● <i>E. coli</i> グリセロールストック*2

\*1 microRNA ベースの shRNA は、Drosha/Dicer によるプロセッシングを正確に受けるため特異的な遺伝子発現抑制が可能です。

また、シンプルヘアピン型の shRNA に比べて細胞毒性が低いことが示唆されています (McBride et al., Beer et al.).

\*2 レンチウイルスベクターを形質転換した *E. coli* の培養液にグリセロールを加えたもので、チューブあるいは 96 ウェルマイクロタイタープレートで提供されます。

\*3 shRNA 発現用レンチウイルスベクターを用いた遺伝子発現抑制実験に必要な試薬をパッケージにしたキットです。

Dharmacon 製品のご注文方法については p.7 をご覧下さい。製品価格とは別に Handling fee (手数料) が発生いたします。